

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【公開番号】特開2009-299633(P2009-299633A)

【公開日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-051

【出願番号】特願2008-157321(P2008-157321)

【国際特許分類】

F 0 2 B 63/04 (2006.01)

F 0 2 B 63/06 (2006.01)

F 0 2 B 63/00 (2006.01)

F 0 2 B 67/00 (2006.01)

【F I】

F 0 2 B 63/04 Z

F 0 2 B 63/06 E

F 0 2 B 63/04 C

F 0 2 B 63/06 Z

F 0 2 B 63/00 C

F 0 2 B 63/04 F

F 0 2 B 63/00 F

F 0 2 B 67/00 D

F 0 2 B 67/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

作業機を駆動するエンジンと、該エンジンに供給する燃料を貯留する燃料タンクと、該燃料タンクと前記エンジンとの間に設けられた燃料系統と、前記エンジン、前記燃料タンク及び前記燃料系統の下方に配置された防油堤とを備えたエンジン作業機において、前記防油堤内の液面を検出する液面センサと、該液面センサがあらかじめ設定した液面高さを検出したときに前記エンジンを非常停止させる制御手段とを備え、前記制御手段は、前記非常停止を有効又は無効に切り替える選択手段を備えていることを特徴とするエンジン作業機。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記燃料系統に設けられている燃料フィードポンプを非常停止させることを特徴とする請求項 1 記載のエンジン作業機。

【請求項 3】

前記燃料タンクは、前記防油堤内に収納されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のエンジン作業機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

上記目的を達成するため、本発明のエンジン作業機は、作業機を駆動するエンジンと、該エンジンに供給する燃料を貯留する燃料タンクと、該燃料タンクと前記エンジンとの間に設けられた燃料系統と、前記エンジン、前記燃料タンク及び前記燃料系統の下方に配置された防油堤とを備えたエンジン作業機において、前記防油堤内の液面を検出する液面センサと、該液面センサがあらかじめ設定した液面高さを検出したときに前記エンジンを非常停止させる制御手段とを備え、前記制御手段は、前記非常停止を有効又は無効に切り替える選択手段を備えていることを特徴としている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

さらに、前記制御手段が前記燃料系統に設けられている燃料フィードポンプを非常停止させること、また、前記燃料タンクは、前記防油堤内に収納されている状態であってもよい。